

中小企業景況調査報告書

平成25年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建 設 業	7
製 造 業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸 売 業	13
小 売 業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(48)の内訳

業 種	事業所数
撚 糸 業	6
織物製造業	26
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	5
合 計	48

- VI. 分 析 方 法
1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分 析 項 目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は着実に持ち直している。

1. 前年同期比 D I 値の分析

(1) 業況D I 値

- ① 今期(表 1、3 参照)は、▲23.0 で、前期実績 (H25.1～3 月期) ▲33.0 と比較すると、10.0 ポイント上回っている。来期も、▲17.0 (今期数値との比較 6.0 ポイント増) と、今期実績を上回る見通し。
- ② 繊維製造業の今期(48 事業所、表 2、5 参照)は、▲31.3 で前期実績と比較すると、14.5 ポイント上回っている。来期も、▲14.6 (今期数値との比較 16.7 ポイント増) と、今期実績を上回る見通し。

(2) その他のD I 値

- ① 今期は、売上▲17.0、採算▲22.0、資金繰り▲5.0、従業員▲5.0 で、前期実績と比較すると、売上 20.0 ポイント増、採算 10.0 ポイント増、資金繰り 4.0 ポイント増、従業員横ばいと、ほとんどの項目で前期実績を上回っている。来期は、売上▲13.0 (今期数値との比較 4.0 ポイント増)、採算▲20.0 (同 2.0 ポイント増)、資金繰り▲9.0 (同 4.0 ポイント減)、従業員▲7.0 (同 2.0 ポイント減) で、売上、採算で今期実績を上回る見通し。
- ② 繊維製造業の今期は、前期実績と比較すると、売上 27.0 ポイント増、採算 14.6 ポイント増、資金繰り 10.4 ポイント増、従業員 2.1 ポイント増と、すべての項目で前期実績を上回っている。来期は、今期数値との比較で、売上 10.5 ポイント増、採算 10.4 ポイント増、資金繰り 4.2 ポイント減、従業員 2.1 ポイント増で、資金繰り以外で今期実績を上回る見通し。

以上のことから、景況は、持ち直しており、来期も、さらに改善する見通しである。

2. 前期比 D I 値の分析

- ① 今期(表 7、8 参照)は、業況▲8.0、売上 13.0、資金繰り▲1.0 で、前期実績との比較では、業況 20.0 ポイント増、売上 56.0 ポイント増、資金繰り 6.0 ポイント増と、すべての項目で前期実績を上回っている。特に、売上はプラスになっている。
- ② 繊維製造業(48 事業所、表 9、10 参照)についても、前期実績との比較で、業況 25.0 ポイント増、売上 62.5 ポイント増、資金繰り 2.1 ポイント増と、すべての項目で前期実績を上回っており、全業種同様、売上はプラスになっている。

3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 38 件(22 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』14 件、『O A 機器』7 件、『付帯施設』6 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 40 件(24 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』12 件、『O A 機器』10 件、『付帯施設』7 件となっている。

以上のことから、今期の設備投資は、前回調査値(27 件、18 事業所)に比べ件数・事業所とも増加し、来期も今期を上回る計画を有しており、設備投資は増加傾向にある。

4. 直面している経営上の問題点(表 1 1 参照)

業種別の直面している経営上の問題点は、表 11 のとおり。多くの業種で、経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』、『原材料価格・仕入単価の上昇』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業〈織物〉）

業況は、前年同期比で好調な推移だった。最近の円安の影響と消費者の高級志向が相俟って日本製の繊維品が見直されてきている。2014年4月に予定されている消費税増税については、価格転嫁が可能であることから特に影響はない。

B 社（製造業〈織物〉）

毛織物生産は、長期に亘る円高によってアパレル製品の輸入浸透とウール素材の消費落ち込みによって一段と減少し、厳しい市場環境にある。また、最近の急激な円安により輸入原料の仕入価格の上昇は必至であるが、販売価格に転嫁することは難しく、利益率低下は免れない。

C 社（製造業〈織物〉）

新規のカーシートの受注が始まり、工場生産はフル稼働の状態である。新しい設備を導入したが、受注に追いつかない状況である。また、最近の円安は、ドイツ製の機械を多く使用しているので、部品の調達コストも上昇している。

D 社（製造業〈縫製〉）

学生服の生産であるため少子化の影響等により生産量の増加は期待できない。また、消費低迷や買い替え需要の減少などから受注数量は、減少傾向にある。

E 社（製造業〈縫製〉）

最近の円安等により生産拠点の国内回帰が一部見受けられる。傾向としては悪くはないが、対価が伴っていないため厳しさに変りはない。また、同業者や関連業者の廃業により連携も困難になっているため、生産に支障をきたしている。

F 社（製造業〈自動車部品加工〉）

アベノミクスの影響で業界は活況だが、真の好景気なのか判断がつかず、作業員の増員については派遣社員で対応している。2014年4月に予定されている消費税増税後は、自動車の購買意欲は落ちると思うが、軽自動車とハイブリッド車はまだまだ伸びる余地があると期待したい。

G 社（卸売業〈食品機械〉）

業界内は伸びる会社とそうでない会社の二極化がますます進展している。当社は、中小企業の食品加工会社への販売が好調で、売上は増加している。

H 社（小売業〈自動車〉）

最近の円安で自動車メーカーは、輸出が伸び、海外向けは増産体制にある。国内では、軽自動車の販売は今後も増える見込みである。消費者ニーズへの対応が鍵を握ると思う。

I 社（サービス業〈クリーニング〉）

ホームクリーニングや貸おしぼりの売上は、飲食店の業況が悪いことなどから減少傾向にあるが、病院や介護施設で使用される衣類のクリーニング売上は増加傾向にある。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比 ～

	H24. 4～6月	H24. 7～9月	H24. 10～12月	H25. 1～3月	今 期 H25. 4～6月	来期の見通し H25. 7～9月
業 況	▲22.0	▲33.0	▲36.0	▲33.0	▲23.0	▲17.0
売 上	▲21.0	▲37.0	▲33.0	▲37.0	▲17.0	▲13.0
採 算	▲28.0	▲20.0	▲32.0	▲32.0	▲22.0	▲20.0
資金繰り	▲7.0	▲14.0	▲12.0	▲9.0	▲5.0	▲9.0
従 業 員	▲3.0	▲1.0	▲7.0	▲5.0	▲5.0	▲7.0

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比 ～

	H24. 4～6月	H24. 7～9月	H24. 10～12月	H25. 1～3月	今 期 H25. 4～6月	来期の見通し H25. 7～9月
業 況	▲31.3	▲37.5	▲47.9	▲45.8	▲31.3	▲14.6
売 上	▲31.3	▲47.9	▲41.7	▲45.8	▲18.8	▲8.3
採 算	▲35.4	▲29.2	▲50.0	▲47.9	▲33.3	▲22.9
資金繰り	▲8.3	▲18.8	▲20.8	▲12.5	▲2.1	▲6.3
従 業 員	▲4.2	2.1	▲8.3	▲14.6	▲12.5	▲10.4

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所) ～ 前 年 同 期 比 ～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	2 (2)	8 (5)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	11 (10)	▲ 23.0 (▲17.0)
	不 変	5 (5)	31 (42)	8 (7)	5 (4)	6 (5)	55 (63)	
	悪 化	0 (0)	22 (14)	4 (5)	5 (5)	3 (3)	34 (27)	
売 上	増 加	3 (2)	14 (9)	3 (2)	0 (2)	2 (2)	22 (17)	▲ 17.0 (▲13.0)
	不 変	2 (2)	26 (39)	5 (6)	4 (3)	2 (3)	39 (53)	
	減 少	2 (3)	21 (13)	5 (5)	6 (5)	5 (4)	39 (30)	
採 算	好 転	2 (2)	7 (7)	3 (3)	0 (1)	2 (2)	14 (15)	▲ 22.0 (▲20.0)
	不 変	3 (3)	31 (35)	6 (5)	6 (4)	4 (3)	50 (50)	
	悪 化	2 (2)	23 (19)	4 (5)	4 (5)	3 (4)	36 (35)	
資 金 繰 り	好 転	1 (1)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	10 (8)	▲ 5.0 (▲9.0)
	不 変	5 (5)	44 (46)	12 (10)	8 (7)	6 (7)	75 (75)	
	悪 化	1 (1)	10 (9)	1 (3)	2 (3)	1 (1)	15 (17)	
従 業 員	増 加	1 (1)	4 (6)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	11 (10)	▲ 5.0 (▲7.0)
	不 変	3 (3)	48 (46)	10 (10)	7 (7)	5 (7)	73 (73)	
	減 少	3 (3)	9 (9)	2 (2)	1 (2)	1 (1)	16 (17)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	22	来 期	計画している ※2	24
	(事業所数)	実施していない	78	(事業所数)	計画していない	76

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	2 件	0 件	5. 付 帯 施 設	6 件	7 件
2. 工 場 建 物	3 件	3 件	6. O A 機 器	7 件	10 件
3. 生 産 設 備	14 件	12 件	7. 福 利 厚 生 施 設	2 件	2 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	2 件	4 件	8. そ の 他	2 件	2 件
複数回答可			合 計	38 件	40 件

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業48事業所)

～ 前 年 同 期 比 ～

表 5

	事業所数	6	26	8	3	5	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	2 (2)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (5)	▲ 31.3 (▲14.6)
	不 変	2 (3)	12 (19)	5 (6)	1 (1)	1 (2)	21 (31)	
	悪 化	2 (1)	13 (6)	1 (1)	1 (1)	4 (3)	21 (12)	
売 上	増 加	2 (2)	2 (3)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	9 (7)	▲ 18.8 (▲8.3)
	不 変	1 (3)	13 (17)	3 (5)	2 (3)	2 (2)	21 (30)	
	減 少	3 (1)	11 (6)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	18 (11)	
採 算	好 転	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	▲ 33.3 (▲22.9)
	不 変	2 (3)	11 (15)	6 (6)	1 (1)	2 (2)	22 (27)	
	悪 化	2 (1)	14 (10)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	21 (16)	
資 金 繰 り	好 転	2 (2)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (5)	▲ 2.1 (▲6.3)
	不 変	3 (3)	20 (21)	8 (7)	1 (1)	3 (3)	35 (35)	
	悪 化	1 (1)	3 (3)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	7 (8)	
従 業 員	増 加	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	2 (3)	▲ 12.5 (▲10.4)
	不 変	6 (4)	19 (20)	6 (7)	2 (1)	5 (5)	38 (37)	
	減 少	0 (2)	6 (5)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	10	来 期	計画している ※2	13
	(事業所数)	実施していない	38	(事業所数)	計画していない	35

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	1 件	0 件	5. 付 帯 施 設	2 件	2 件
2. 工 場 建 物	1 件	2 件	6. O A 機 器	3 件	5 件
3. 生 産 設 備	7 件	8 件	7. 福 利 厚 生 施 設	1 件	1 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	0 件	0 件	8. そ の 他	0 件	0 件
複数回答可			合 計	15 件	18 件

景 況 の 推 移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前 期 比 ～

	H24.4～6月	H24.7～9月	H24.10～12月	H25.1～3月	今 期 H25.4～6月
業 況	▲11.0	▲26.0	▲25.0	▲28.0	▲8.0
売 上	▲6.0	▲10.0	▲14.0	▲43.0	13.0
資金繰り	▲9.0	▲9.0	▲15.0	▲7.0	▲1.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前 期 比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計	
業 況	好 転	2	7	2	1	2	14	▲ 8.0
	不 変	5	40	7	7	5	64	
	悪 化	0	14	4	2	2	22	
売 上	増 加	3	25	5	2	4	39	13.0
	不 変	2	22	3	6	2	35	
	減 少	2	14	5	2	3	26	
資 金 繰 り	好 転	2	6	1	0	0	9	▲ 1.0
	不 変	5	49	11	8	8	81	
	悪 化	0	6	1	2	1	10	

景 況 の 推 移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H24. 4～6月	H24. 7～9月	H24. 10～12月	H25. 1～3月	今 期 H25. 4～6月
業 況	▲10. 4	▲37. 5	▲43. 8	▲41. 7	▲16. 7
売 上	0. 0	▲12. 5	▲35. 4	▲50. 0	12.5
資金繰り	▲8. 3	▲8. 3	▲18. 8	▲6. 3	▲4. 2

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	26	8	3	5	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	そ の 他	合 計	
業 況	好 転	1	2	2	0	0	5	▲ 16.7
	不 変	4	16	5	2	3	30	
	悪 化	1	8	1	1	2	13	
売 上	増 加	3	9	5	0	1	18	12.5
	不 変	2	12	1	1	2	18	
	減 少	1	5	2	2	2	12	
資 金 繰 り	好 転	2	2	0	0	0	4	▲ 4.2
	不 変	3	22	8	2	3	38	
	悪 化	1	2	0	1	2	6	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品(加工)単価 の低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○原材料価格の上 昇
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○仕入単価の上昇
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○材料等仕入単価 の上昇 ○需要の停滞	○利用者ニーズの 変化への対応	○店舗施設の狭隘・ 老朽化

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	1
材料の入手難	0
人件費の増加	1
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	15
下請単価の上昇	2
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	8
民間需要の停滞	9
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	9
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	30
生産設備の不足・老朽化	14
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	49
原材料の不足	1
人件費の増加	7
原材料費・人件費以外の経費の増加	10
製品(加工)単価の低下・上昇難	39
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	6
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	15
需要の停滞	63
その他 ・代表者の高齢化 ・商業のモラルの低下 ・円安の件と需要の変化	6
合 計	257

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	9
生産設備の不足・老朽化	8
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	12
原材料の不足	2
人件費の増加	8
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	13
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	16
その他	0
合 計	75

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
メーカーの進出による競争の激化	4
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	1
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	4
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	10
仕入単価の上昇	5
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	4
需要の停滞	30
その他 〔・メーカー商品の製造中止〕	2
合 計	68

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

小 売 業

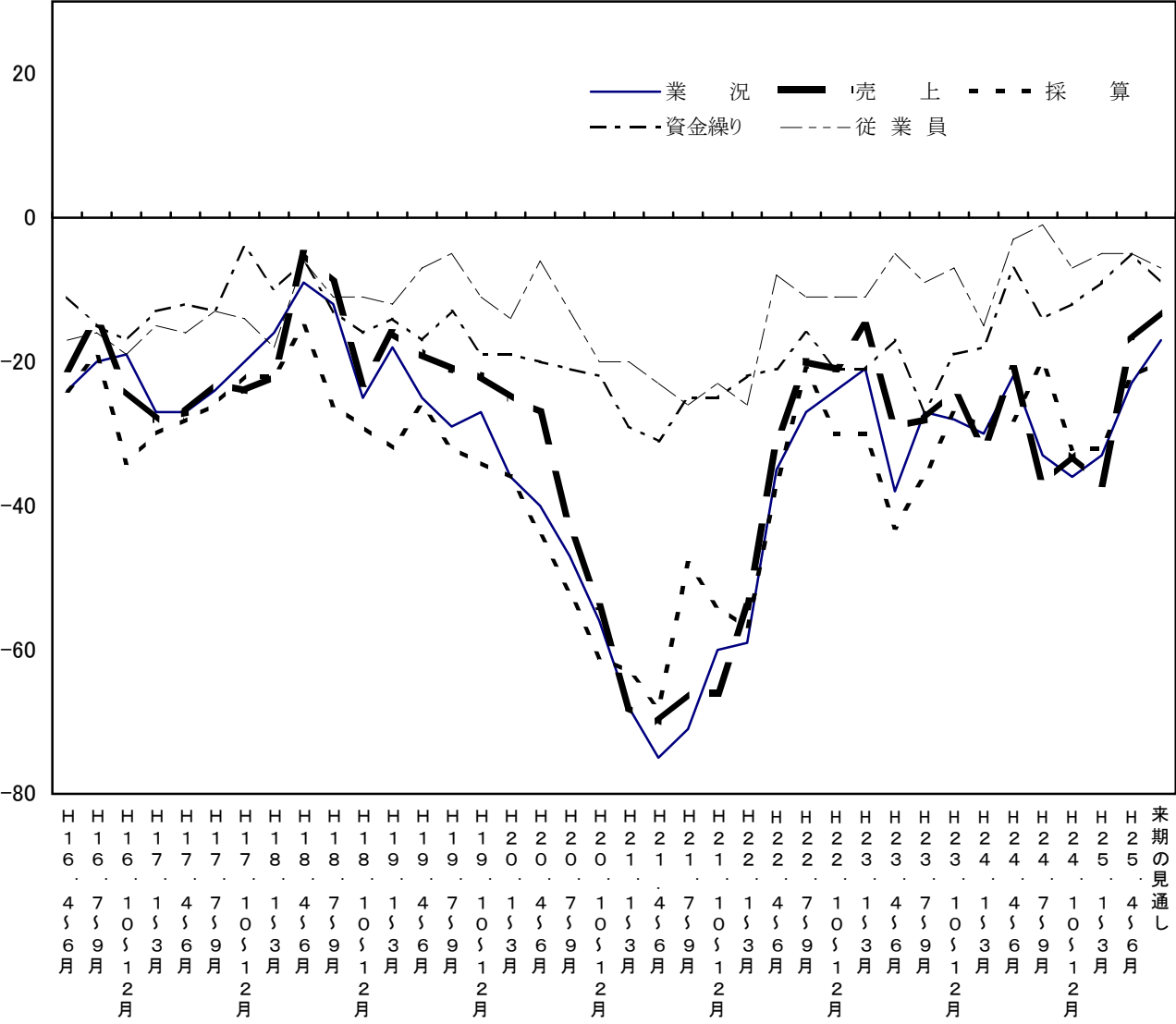
内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	12
同業者の進出	4
購買力の他地域への流出	5
消費者ニーズの変化への対応	4
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	1
販売単価の低下・上昇難	6
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	2
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	1
需要の停滞	9
その他 (・インターネット販売による売上低下)	3
合 計	53

サ ー ビ ス 業

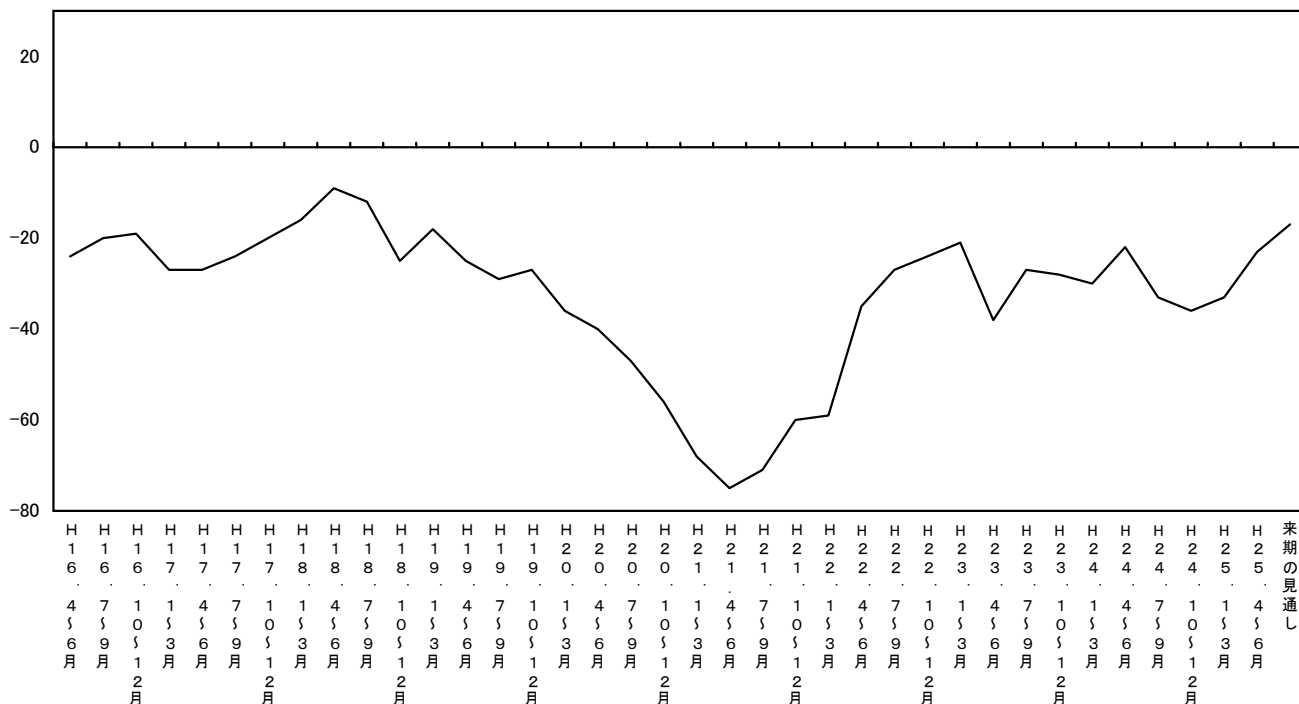
内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	6
店舗施設の狭隘・老朽化	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	3
材料等仕入単価の上昇	10
金利負担の増加	1
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	10
その他	0
合 計	41

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

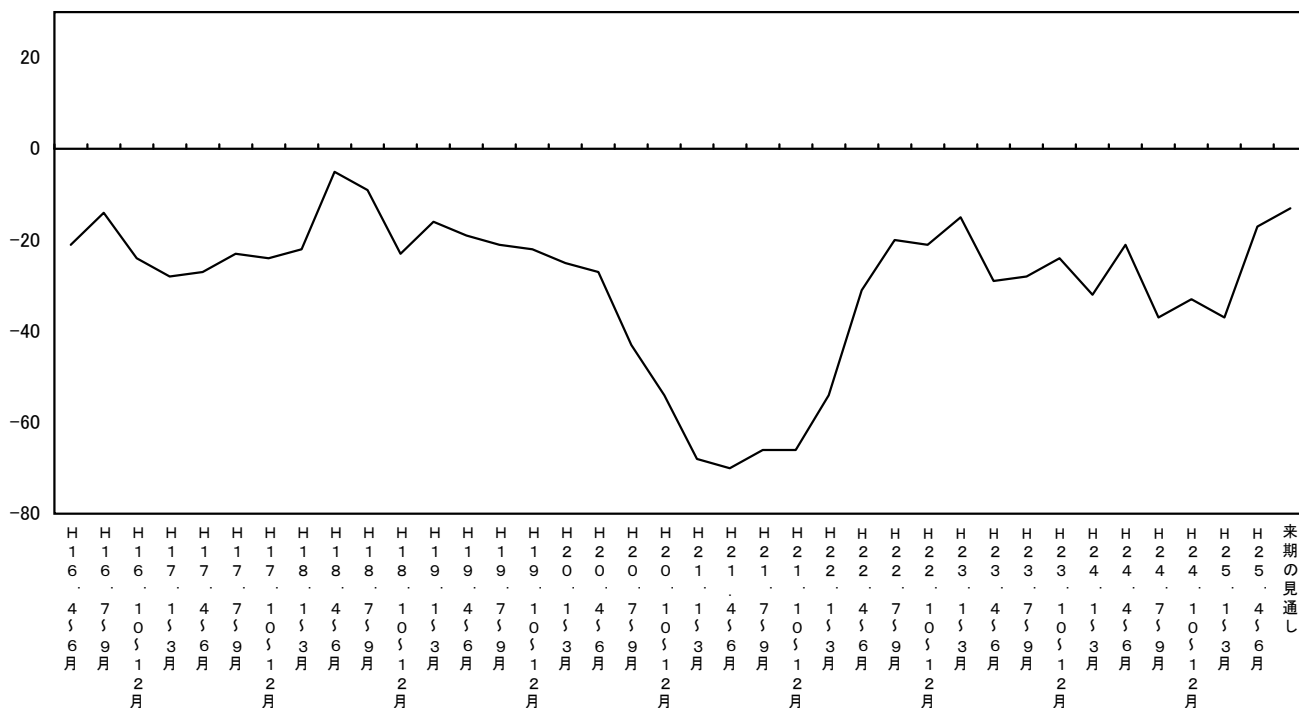
景況 DI (全業種)－前年同期比－



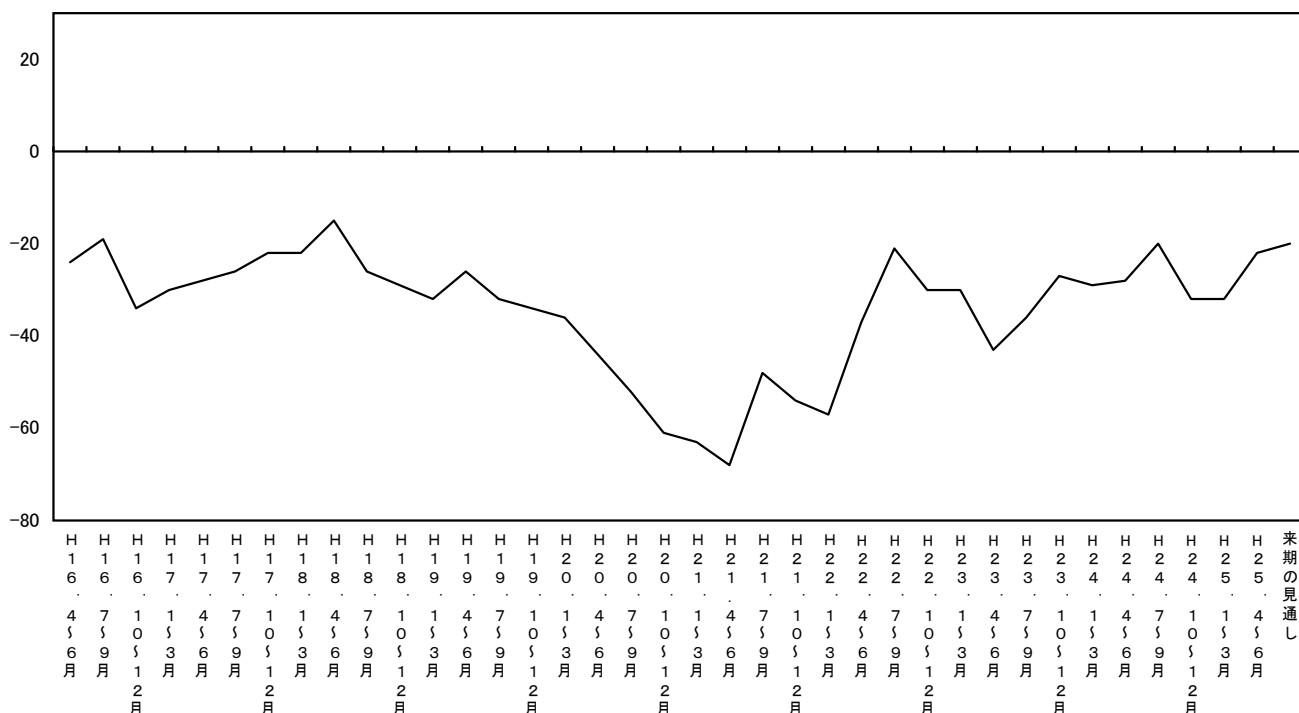
業 況 DI 一前年同期比一



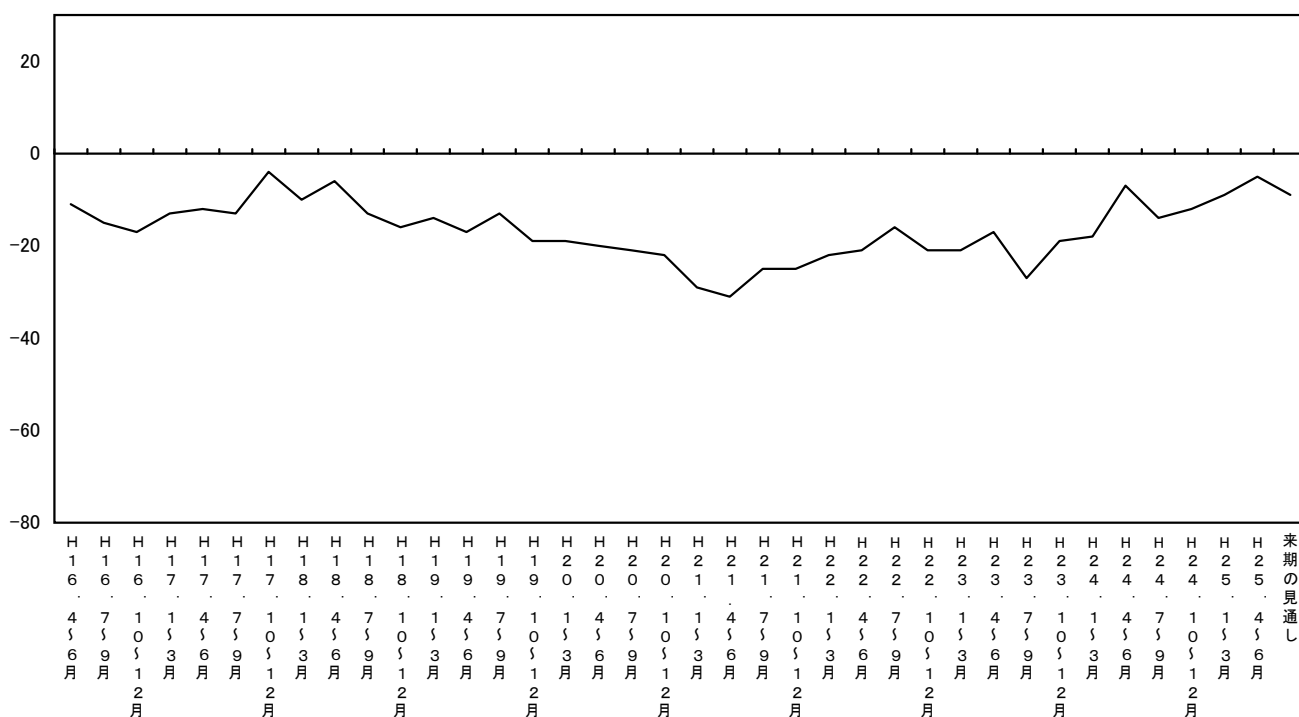
売 上 DI 一前年同期比一



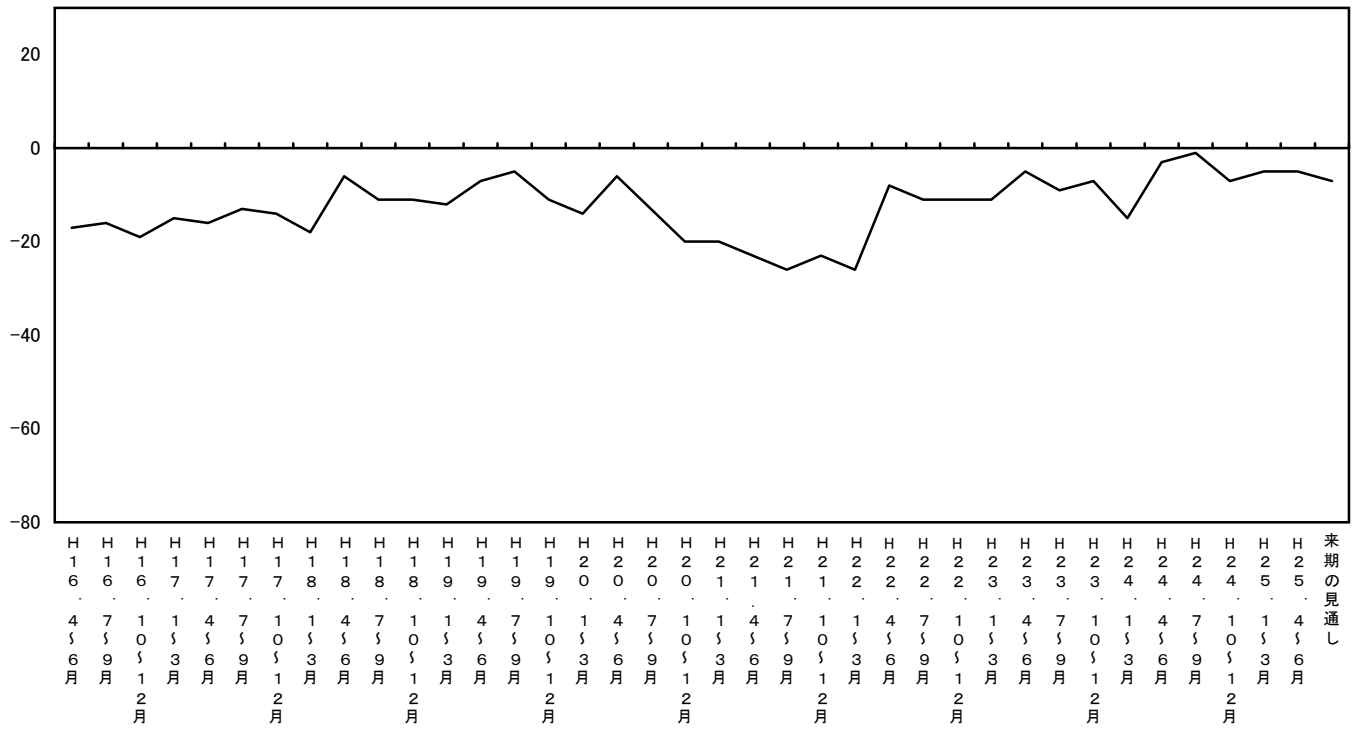
採 算 DI 一前年同期比一



資金繰り DI 一前年同期比一



従業員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp